

カラレエステル クラフテル 帆布

# フレッシュナー<sup>®</sup>

防汚キャンバス

ハイグレードなトラックシート  
全タイプ  
フッ素防汚



カラレ

# ハイグレードな トラックシート

防汚性

耐久性

鮮やかな色合い



フレッシュナーは、  
防汚グレードにより3タイプの構成となっています。

SR-Fタイプ

SR-Kタイプ

SR-Tタイプ / SR-T 軽量タイプ ライト

## SR-Fタイプ

- グレードの高いフッ素防汚処理加工。
- アルミバンに代わるハイテク素材です。



シルバー

- SR-Fタイプは、かけはずし及び折りたたまの多いシートには適しません。
- ウェルダ―縫製については、合繊帆布の通常条件でご使用ください。
- 用、マーキングについては、帝國インキ製造(株)の「VARスクリーンインキ」と専用溶剤「G001～G004」をご使用ください。

## SR-Tタイプ

- ターボセットベース+フッ素防汚処理加工。
- 1ランク上のシートです。



シルバー



ブルー



ダークグリーン

## SR-Kタイプ

- 特殊塩ビフィルム+フッ素防汚処理加工。
- しなやかさと美しさを備えたシートです。



ブルー



シルバー



レッド



ダークグリーン



ライトグリーン



ホワイト



イエロー

★SR-Kタイプは、各色とも裏面を日が透れにくいアイボリーに統一しております。(但し、ホワイトを除く。)

## SR-T 軽量タイプ ライト

- 軽量帆布(E100)のフッ素防汚処理加工。
- 軽さと美しさを備えたシートです。



グリーン



※全タイプ共通物については、20度からの発注生産となります。



CLEAN 清潔

CLEAR 鮮やか

CREATIVE 需要創造

COMMERCIAL 宣伝効果

の4つのCを持つ物流新時代に対応したキャンバスです。

## 性能表

	SR-Fタイプ	SR-Kタイプ	SR-Tタイプ	SR-Tタイプ 軽 量 ライト	
巾×長さ (cm)×(m)	102×50 (乱)	102×50 (乱)	102×50 (乱)	102×50 (乱)	
厚さ (mm)	0.60	0.60	0.47	0.44	JIS L-1096
重量 (g/m <sup>2</sup> )	660	660	530	450	JIS L-1096
引張強度 (kg/3cm) ※(N/3cm)	150×130 1500×1270	150×120 1470×1170	150×120 1470×1170	155×140 1520×1370	JIS L-1096A法 (ストリップ法)
引張伸度 (%)	25×30	26×32	25×30	32×36	JIS L-1096A法 (ストリップ法)
引裂強度	(φd)	10×9	10×9	10×10	JIS L-1096A法 (シングルダング法)
	(φN)	98×88	98×88	98×98	
耐熱性・亀裂発生温度 (表×裏) (°C)	-10°C×-10°C	-10°C×-10°C	-5°C×-5°C	-5°C×-5°C	JIS K-6772
耐熱性・高温時不粘着性 /70°C	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	JIS K-6772
耐水度 (mm H <sub>2</sub> O) ※(Pa)	1500以上	1500以上	1500以上	1500以上	JIS L-1092A法 (鉛筆法)
	14700以上	14700以上	14700以上	14700以上	

※新計量法に基づく国際単位系 (SI) を表示。  
上記数値は測定平均値であって、保証値ではありません。  
表示はタナメココです。

## 取り扱い上の注意

### ●ロットNo. による品質、出荷管理について

1. 膜材料(原反)には、ロットNo. がサイドラベル(片側)に記載されております。
2. ロットNo. で品質、出荷管理をいたしておりますので、縫製された製品には製造番号を付与し、これに使用した膜材料のロットNo. を必ず記録、保存してください。  
※膜材料のロットNo. の記録がない場合、製品に問題が生じても膜材料の品質証明を行う事が困難になります。
3. 品質には万全を期しておりますが、万が一問題が生じましたら、ただちに製造元または販売元に膜材料の品番とロットNo. を必ず連絡してください。

### ●縫製上の注意

1. ライスター、パフ等の熱融着による接合の際は、臭気が発生しますので、必ず作業場を換気してください。
2. 高周波ウエルダーで溶着する際は、溶着部分に通電性を有する物質が付着していると、稀にスパークを起こすことがありますので、ウエルダーバー及び膜材料の溶着部分に付着物の無い状態で溶着してください。
3. 膜材料が鉄骨等と直接接触する部分には、必ず補強をしてください。

### ●膜材料縫製品使用上の注意

1. 膜材料は、はためくと防水樹膠の亀裂及び剥離が生じ防水性能の低下により漏水する危険性があります。  
その場合、保管物、積載品等を濡らしますので、使用時には、はためかないように十分に固定してください。
2. 膜材料は、使用条件によっては内外温度差等により膜材料内面に露が発生して保管物、積載品等を濡らしますので、綿帆布等の通気性及び吸湿性の良い物を内張り材として使用してください。
3. トラックシート(平掛シート)の場合は必ず2枚重ねで使用してください。
4. 縫製品を安全に使用していただくためには、定期的に点検を実施してください。その際に膜材料の防水樹膠がはがれたり、基布が見えたり、破れを発見した場合は、ただちに膜材料の補修又は更新をしてください。

### ●廃棄について

膜材料及び膜材料縫製品を廃棄される際は、下記の方法で処理してください。

1. 廃棄物処理法、都道府県条例等に従って処理してください。
2. 許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。



大 阪 〒530-8611 大阪市北区梅田1-12-39 (新阪急ビル) ☎(06) 6348-2358 FAX(06) 6348-2187  
東 京 〒103-8254 東京都中央区日本橋3-1-6 (丸の内線ビル) ☎(03) 3277-3219 FAX(03) 3277-3292  
札 幌 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-44 (富士ビル) ☎(011) 231-1888 FAX(011) 222-7946  
名古屋 〒460-0003 名古屋市中央区錦3-11-23 (弘洋ビル) ☎(052) 962-6811 FAX(052) 962-6818  
福 岡 〒810-0001 福岡市中央区天神2-14-2 (福岡証券ビル) ☎(092) 741-4370 FAX(092) 751-6069